



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月16日

上場会社名 イマジニア株式会社
 コード番号 4644 URL <https://www.imagineer.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 澄岡 和憲

問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

定時株主総会開催予定日 2022年6月24日

配当支払開始予定日

2022年6月7日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,331	12.1	1,177	17.3	1,337	12.3	890	12.8
2021年3月期	7,205	23.7	1,423	26.4	1,524	34.6	1,021	31.2

(注) 包括利益 2022年3月期 1,035百万円 (7.5%) 2021年3月期 1,119百万円 (36.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	92.82		7.9	10.6	18.6
2021年3月期	106.46		9.6	12.4	19.8

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	12,658	11,693	91.9	1,211.73
2021年3月期	12,500	11,059	88.1	1,147.63

(参考) 自己資本 2022年3月期 11,629百万円 2021年3月期 11,014百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	311	568	386	7,300
2021年3月期	818	104	436	7,923

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		15.00		25.00	40.00	383	37.6	3.6
2022年3月期		15.00		17.00	32.00	307	34.5	2.7
2023年3月期(予想)		16.00		16.00	32.00		45.8	

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	15.3	750	36.3	1,000	25.2	670	24.8	69.81

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期	10,649,000 株	2021年3月期	10,649,000 株
期末自己株式数	2022年3月期	1,051,590 株	2021年3月期	1,051,590 株
期中平均株式数	2022年3月期	9,597,410 株	2021年3月期	9,597,488 株

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,331	12.1	1,135	12.6	1,297	7.4	886	9.2
2021年3月期	7,205	23.7	1,299	43.8	1,402	54.1	976	54.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	92.35	
2021年3月期	101.76	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年3月期	12,620		11,584		91.8		1,207.03	
2021年3月期	12,544		10,973		87.5		1,143.41	

(参考) 自己資本 2022年3月期 11,584百万円 2021年3月期 10,973百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数字は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付書類の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されるなかで、持ち直しの動きがみられています。

当社グループは、創業以来の事業であるコンテンツ事業の更なる成長に向けて、「ビジネス領域の拡大」を更に進めつつ、それぞれのコンテンツビジネス間のシナジーを生み出し、活用することで「ヒットコンテンツ」の創出を目指してまいります。

当連結会計年度におきましては、2020年12月に発売したNintendo Switch向けソフト「Fit Boxing2 -リズム&エクササイズ-」が各種プロモーションの効果もあり全世界累計出荷販売本数が100万本を達成し、前作と合わせシリーズ累計200万本を達成しております。新作では2022年2月にNintendo Switch向けソフト「みんなのカーリング」を発売しております。

また、事業領域の拡大や新規事業の立ち上げの加速を目的として、2022年3月に子会社「株式会社imagineer nexus」を設立いたしました。

上記の取り組みの結果、売上高6,331,381千円（前年同期比12.1%減）、営業利益1,177,310千円（前年同期比17.3%減）、経常利益1,337,287千円（前年同期比12.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益890,912千円（前年同期比12.8%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して158,740千円増加した12,658,801千円となりました。その主な要因は、投資有価証券が763,803千円及び流動資産のその他が156,321千円の増加となったものの、現金及び預金が626,019千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して474,488千円減少した965,726千円となりました。その主な要因は、営業未払金が182,405千円、未払法人税等が116,522千円及び流動負債のその他が171,613千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して633,229千円増加した11,693,075千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が488,261千円の増加となったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は7,300,617千円と前連結会計年度末より623,265千円の減少となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は311,133千円（前年同期は818,655千円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,337,287千円の増加要因があったものの、法人税等の支払額532,301千円、未払金の減少276,782千円及び営業未払金の減少182,405千円の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は568,986千円（前年同期は104,755千円の資金増加）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出561,431千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は386,858千円（前年同期は436,258千円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額381,752千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは創業以来の事業である「コンテンツ事業」に経営資源を集中し、当該事業の更なる成長と企業価値の向上を目指してまいります。

当社グループでは「コンテンツ事業」の事業拡大のスピードを加速させるため、パッケージゲーム「Fit Boxing」シリーズの全世界販売累計200万本を超えるヒットやスマートフォンゲームのタイトル数の充実などを受けて、次期においては「コンテンツ事業」の主力であるパッケージゲーム及びスマートフォンゲームを中心に、研究開発費を前期に比べ約2倍となる740,000千円を投じて「ヒットコンテンツ」の創出を目指してまいります。

それらを踏まえ次期の業績は、売上高においてパッケージゲーム、スマートフォンゲーム、海外展開などの事業拡大により前期に比べ増収となる7,300,000千円（前期比15.3%増）、各利益は上記の研究開発費への投資が影響し前期に比べ減益となり、営業利益750,000千円（前期比36.3%減）、経常利益1,000,000千円（前期比25.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益670,000千円（前期比24.8%減）を見込んでおります。当社は研究開発費投資の好機を迎えておりますので、これまでにない事業拡大を目指し、積極的な挑戦を継続してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,923,883	7,297,863
売掛金	1,366,058	1,305,387
有価証券	3,212	—
商品及び製品	6,194	5,806
仕掛品	8,226	11,040
原材料及び貯蔵品	2	25
その他	312,981	469,302
貸倒引当金	△4,528	△581
流動資産合計	9,616,030	9,088,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	107,005	107,005
減価償却累計額	△78,500	△81,467
建物及び構築物（純額）	28,505	25,538
工具、器具及び備品	94,560	94,723
減価償却累計額	△87,794	△85,970
工具、器具及び備品（純額）	6,766	8,752
その他	13,876	18,233
減価償却累計額	△6,167	△10,792
その他（純額）	7,709	7,440
有形固定資産合計	42,981	41,732
無形固定資産	35,428	27,515
投資その他の資産		
投資有価証券	2,226,040	2,989,843
繰延税金資産	379,691	311,711
その他	323,298	335,225
貸倒引当金	△123,409	△136,070
投資その他の資産合計	2,805,620	3,500,709
固定資産合計	2,884,030	3,569,957
資産合計	12,500,060	12,658,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,956	14,358
営業未払金	555,557	373,152
未払法人税等	268,334	151,811
賞与引当金	—	7,950
返品調整引当金	1,141	—
その他	586,366	414,753
流動負債合計	1,436,356	962,025
固定負債	3,858	3,701
負債合計	1,440,215	965,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	6,545,386	7,033,647
自己株式	△622,652	△622,652
株主資本合計	11,057,757	11,546,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,412	83,480
その他の包括利益累計額合計	△43,412	83,480
非支配株主持分	45,500	63,576
純資産合計	11,059,845	11,693,075
負債純資産合計	12,500,060	12,658,801

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	7,205,125	6,331,381
売上原価	2,757,914	2,340,804
売上総利益	4,447,211	3,990,576
返品調整引当金繰入額	1,141	—
差引売上総利益	4,446,069	3,990,576
販売費及び一般管理費	3,022,566	2,813,265
営業利益	1,423,503	1,177,310
営業外収益		
受取配当金	84,593	50,270
為替差益	17,944	84,266
出資金運用益	10,842	19,480
その他	2,997	7,868
営業外収益合計	116,377	161,886
営業外費用		
固定資産処分損	—	1,812
その他	15,828	98
営業外費用合計	15,828	1,910
経常利益	1,524,051	1,337,287
税金等調整前当期純利益	1,524,051	1,337,287
法人税、住民税及び事業税	473,859	416,321
法人税等調整額	△16,722	11,977
法人税等合計	457,137	428,298
当期純利益	1,066,914	908,988
非支配株主に帰属する当期純利益	45,133	18,075
親会社株主に帰属する当期純利益	1,021,781	890,912

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	1,066,914	908,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,568	126,892
その他の包括利益合計	52,568	126,892
包括利益	1,119,482	1,035,880
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,074,349	1,017,805
非支配株主に係る包括利益	45,133	18,075

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,669,000	2,466,023	5,811,531	△622,471	10,324,082	△95,980	△95,980	145,417	10,373,519
会計方針の変更による累 積的影響額			—		—				—
会計方針の変更を反映した 当期首残高	2,669,000	2,466,023	5,811,531	△622,471	10,324,082	△95,980	△95,980	145,417	10,373,519
当期変動額									
剰余金の配当			△287,925		△287,925				△287,925
親会社株主に帰属する当 期純利益			1,021,781		1,021,781				1,021,781
自己株式の取得				△180	△180				△180
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)						52,568	52,568	△99,916	△47,348
当期変動額合計	—	—	733,855	△180	733,674	52,568	52,568	△99,916	686,326
当期末残高	2,669,000	2,466,023	6,545,386	△622,652	11,057,757	△43,412	△43,412	45,500	11,059,845

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,669,000	2,466,023	6,545,386	△622,652	11,057,757	△43,412	△43,412	45,500	11,059,845
会計方針の変更による累 積的影響額			△18,754		△18,754				△18,754
会計方針の変更を反映した 当期首残高	2,669,000	2,466,023	6,526,631	△622,652	11,039,002	△43,412	△43,412	45,500	11,041,090
当期変動額									
剰余金の配当			△383,896		△383,896				△383,896
親会社株主に帰属する当 期純利益			890,912		890,912				890,912
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)						126,892	126,892	18,075	144,968
当期変動額合計	—	—	507,016	—	507,016	126,892	126,892	18,075	651,984
当期末残高	2,669,000	2,466,023	7,033,647	△622,652	11,546,018	83,480	83,480	63,576	11,693,075

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,524,051	1,337,287
減価償却費	19,334	20,131
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,022	10,328
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	7,950
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1,141	—
受取利息及び受取配当金	△85,961	△50,337
為替差損益 (△は益)	1,511	△21,446
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,367
出資金運用損益 (△は益)	△10,842	△19,480
売上債権の増減額 (△は増加)	227,970	59,055
経費前払金の増減額 (△は増加)	△228,306	△100,362
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△2,037	△12,661
仕入債務の増減額 (△は減少)	563	△10,598
営業未払金の増減額 (△は減少)	184,890	△182,405
未払金の増減額 (△は減少)	△149,054	△276,782
前受金の増減額 (△は減少)	21,358	98,921
未払又は未収消費税等の増減額	△152,579	7,094
その他	△3,625	△41,260
小計	1,354,437	824,066
利息及び配当金の受取額	61,799	19,351
利息の支払額	△102	△57
法人税等の還付額	75	75
法人税等の支払額	△597,553	△532,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	818,655	311,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	—	3,029
投資有価証券の取得による支出	—	△561,431
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	12,760
短期貸付金の回収による収入	40,000	—
長期貸付金の回収による収入	95,000	—
その他	△30,244	△23,346
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,755	△568,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△285,963	△381,752
非支配株主への払戻による支出	△145,050	—
その他	△5,245	△5,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436,258	△386,858
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,511	21,446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	485,640	△623,265
現金及び現金同等物の期首残高	7,438,242	7,923,883
現金及び現金同等物の期末残高	7,923,883	7,300,617

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。当社グループは、返品権付きの販売について、従来は、売上総利益相当額に基づき返品調整引当金を計上しておりましたが、返品されると見込まれる商品又は製品については、変動対価に関する定めに従って、販売時に収益を認識せず、当該商品又は製品について受け取った又は受け取る対価の額で返金負債を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しております。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「返品調整引当金」は、当連結会計年度より「返金負債」として、重要性が低いため「その他」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

この結果、収益認識会計基準等の適用を行う前と比べて、当連結会計年度の連結損益計算書は、売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ13,440千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は18,754千円減少しております。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,147円63銭	1株当たり純資産額	1,211円73銭
1株当たり当期純利益	106円46銭	1株当たり当期純利益	92円82銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,021,781	890,912
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,021,781	890,912
期中平均株式数(株)	9,597,488	9,597,410
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。